



彩

「歌のテーマは感謝。周囲の温かなサポートが夢に向かう原動力です。」

オープニングのイントロに合わせて静かに幕が上がると、目に飛び込んできたのは会場を埋める人、人、人。夢に見たステージからの眺めは、想像を遙かに超える感動的な光景でした。昨年11月、文化会館で行われた「ソルジェンティ」初の単独チャリティコンサートが、これ以上ない形で実を結んだ瞬間です。

二人が掲げた昨年一年間の活動目標は、「地元でできることを全てやろう。」本市在住で地元を拠点に活動続ける二人が見据えた到達点は、文化会館でのコンサート。「とにかく大変でした。」マネジメントを一手に引き受ける兄の光弘さんは、そう言って昨年一年間を振り返ります。「まず、会場を借りるにはどうすればいいか。そこからして、分からないことだらけで・・・」会場を借りたら次は担当者との打ち合わせ、そしてステージ構成にコンサートの告知等々、や

ることも考えることも山積みです。月平均10本のコンサートと並行しての準備に、「息つく暇も無い」ほど多忙な日々を過ごしました。一方、弟の寛さんはポスターやロゴのデザインを手掛けます。「スケジュール管理等は兄に任せっきりです。僕は・・・苦手かな(笑)」と屈託ない笑顔がこぼれます。「コンサートは演っている僕たちも感動しました。お客さんも大勢来てくれて、言うことなかったです。」兄弟二人三脚でたどり着いた夢の舞台に、二人は大きな手応えを感じました。

そして迎えた2008年。一つの“大きな夢”を叶えた二人が見据える“もっと大きな夢”は、プロデビューへ向けての一步です。「自分たちの表現方法を高めて、積極的にプロに向けた活動を進めていきたい。」無色透明だった二人の未来が、鮮やかに彩られようとしています。

ソルジェンティ 下福田

木坂光弘さん(写真右)、寛さん(写真左)兄弟によるボーカルユニット。自費製作したCDシングル“HikaRi”は1,000枚を完売。プロデビューに向けて、今後の活躍が期待される。

夢の先に待つ夢～未来を彩るハーモニー～

「ソルジェンティ」の生い立ち

“SORGENTI”(イタリア語で「泉」)結成のきっかけとなったのは、2003年に長崎で行われたオーディション。別々にエントリーしていたお二人ですが、当日のステージで審査員から掛けられた「二人で歌ってみて。」の一言が全ての始まりでした。即興で合わせた歌が、最優秀賞に輝いたので。

これを機に、二人での活動を本格的にスタートさせると、昨年の4月からはユニット名を“SORGENTI”とし、本市および宇部市を中心に精力的な活動を行っています。また今月24日には、広島県で行われるプロミュージシャンのコンサートに前座での出演が決定するなど、今後は活躍の場が県外にも広がっていきそうです。



▲昨年11月、文化会館で行われたライブには、600人を超えるファンが駆け付けました。